

## 平成 24 年 9 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 24 年 8 月 9 日

上場会社名 株式会社ドワンゴ 上場取引所 東  
 コード番号 3715 URL <http://info.dwango.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 松本 康一郎 (TEL) 03(3664)5477  
 四半期報告書提出予定日 平成 24 年 8 月 10 日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成 24 年 9 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日)

## (1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純損益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 9 月期第 3 四半期	26,916	2.3	736	△62.0	698	△61.8	△220	—
23 年 9 月期第 3 四半期	26,300	14.2	1,936	14.4	1,828	3.1	1,244	△24.2

(注) 包括利益 24 年 9 月期第 3 四半期 △359 百万円 (—%) 23 年 9 月期第 3 四半期 1,374 百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純損益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純損益
	円 銭	円 銭
24 年 9 月期第 3 四半期	△1,103.64	—
23 年 9 月期第 3 四半期	6,605.98	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24 年 9 月期第 3 四半期	27,038	18,436	68.0	90,180.18
23 年 9 月期	27,018	20,550	71.7	94,992.47

(参考) 自己資本 24 年 9 月期第 3 四半期 18,397 百万円 23 年 9 月期 19,383 百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 9 月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
24 年 9 月期	—	0.00	—		
24 年 9 月期(予想)				2,000.00	2,000.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 平成 24 年 9 月期の連結業績予想 (平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
平成 24 年 9 月期 通期	36,020	5.0%	1,060	△36.6	1,020	△30.8	0	△100.0	0.00

(注) 1. 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.5 「2. サマリー情報（その他）」に関する事項をご覧ください。）

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）: 無  
 新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・週精細表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計処理の変更: 有
- ② ①以外の会計方針の変更: 無
- ③ 会計上の見積りの変更: 有
- ④ 修正再表示: 無

(注)1. 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。  
 詳細は添付資料 P.5 「2. サマリー情報（その他）」に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期3Q	204,052株	23年9月期	204,052株
24年9月期3Q	43株	23年9月期	—株
24年9月期3Q	197,554株	23年9月期3Q	187,252株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。予想には様々な不確実性が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 継続企業の前提に関する注記	14
(5) セグメント情報等	14
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	15
(7) 重要な後発事象	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年10月1日～平成24年6月30日)における我が国経済は、国内においては東日本大震災からの復興需要がありますが、欧州債務問題の再燃や新興国の景気減速など、世界景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用会社)を取り巻く環境は、スマートフォンや高機能携帯端末の普及が進み、新たなサービスやアプリも次々と登場し、スマートフォン関連の市場は拡大しております。

さらに、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)、動画配信サービス、電子書籍などもこれまで以上に利用しやすくなっております。

今後も、様々な通信デバイスから利用できる新たなコンテンツが登場してくると予測しております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、ネットワークを通じた新しいコミュニケーション手段を提供すべく、ネットワークエンタテインメントサービス・コンテンツを携帯電話、スマートフォン、PC、家庭用ゲームソフト市場などで事業展開してまいりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

モバイル事業においては、Androidスマートフォン向けに、高音質楽曲配信サービス「dwango.jp」をdocomo、KDDI、SoftBankの国内主要3キャリアに展開しました。また、iPhone向けに「呼び出し音」配信サービスを開始しました。

従来の携帯電話端末向けには、主力となる音楽系サイトの着うた<sup>®</sup>や着うたフル<sup>®</sup>を中心に、人気アーティストの楽曲配信権利獲得や当社グループの強みを活かしたニコニコ動画系オリジナルコンテンツなどを拡充し、ユーザ満足度向上に努めました。

\*なお、有料ユニークユーザ数及びARPUは算出方法の変更にもない、従来との妥当な比較ができないため、記載を省略しております。

費用面においては、著作権等使用料が想定を下回り、広告宣伝費の一部を翌四半期に先送りしました。

以上の結果、モバイル事業の売上高は108億14百万円(前年同期比15.5%減)、セグメント利益(営業利益)は19億13百万円(前年同期比29.1%減)となりました。

ゲーム事業においては、スマートフォンや携帯電話端末のプラットフォームを利用したソーシャルモバイルゲームの市場が拡大しています。一方、従来の据置型や携帯型ゲーム機を中心とした国内家庭用ゲーム市場は、厳しい状況が続いています。

その中で、携帯型ゲーム機向けに、平成24年4月に「CONCEPTION 俺の子供を産んでくれ!」を、平成24年6月に「喧嘩番長Bros. トーキョーバトルロイヤル」を発売しました。

以上の結果、ゲーム事業の売上高は42億98百万円(前年同期比19.0%減)、セグメント利益(営業利益)は3億66百万円(前年同期比321.1%増)となりました。

ポータル事業においては、サービス開始から5周年を迎えたニコニコ動画が、さらなるユーザへのサービス向上ならびに、本サービスのグローバル化を掲げ、総称・ロゴを一新し、2006年のサービス開始からの総称である「ニコニコ動画」を「niconico」に変更しました。それと同時に、「ニコニコ動画:Zero」「ニコニコ生放送:Zero」へとサービスのバージョンアップを行いました。

ニコニコ生放送においては、4月28日、29日に幕張メッセで開催されたニコニコ超会議にネットから347万人のユーザが視聴しました。さらに、政治番組の12時間生放送や将棋の第70期名人戦七番勝負第1局をネットで初めて完全生中継するなどニコニコ生放送ならではの番組を配信しました。

その他には、瞬時に視聴ニーズが起る時事問題などを機動的に配信したほか、政治・ニュース・音楽・スポーツ・芸能などの視聴者ニーズにマッチした多種多様なコンテンツをいち早く配信するなど、他のメディアにはない斬新なサービスを提供しました。

また、6月末にはニコニコ本社がリニューアルオープンし、ユーザが自由に使うことが出来るフリースペースなどが設置されました。

これらの取り組みにより、平成24年6月末には登録会員数2,808万人、様々な特典が受けられる「ニコニコプレミアム会員」は169万人、「ニコニコ動画モバイル」の会員数は757万人となりました。

収益面におきましては、「ニコニコプレミアム会員」が順調に増加しており売上に貢献している他、広告収入やアフィリエイト収入、ポイント収入なども堅調に伸びております

費用面につきましては、「ニコニコ生放送」の番組制作費用や集客・収入に繋がる新サービスへの投資などを継続しております。

以上の結果、ポータル事業の売上高は101億94百万円(前年同期比42.2%増)、セグメント利益(営業利益)は8億91百万円(前年同期比149.6%増)となりました。

ライブ事業においては、4月28日、29日に幕張メッセで「ニコニコ超会議」を開催し、延べ9万2千人の方が来場しました。ライブハウス「ニコファーレ」では、ニコニコ動画系のイベントやコンサートだけではなく、ゲーム系イベントや討論、ファッションショー、映画試写会など様々なイベントを開催しました。また、各種イベント向けにホールの貸出なども行いました。

以上の結果、ライブ事業の売上高は5億86百万円、セグメント損失（営業損失）は8億17百万円となりました。

その他の事業においては、主にアニメ分野やニコニコ動画から生まれたコンテンツのCDやDVDなどの音楽出版及び著作権利用料収入が売上に貢献しました。

以上の結果、その他の事業の売上高は19億47百万円、セグメント損失（営業損失）は2億61百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間業績は、売上高269億16百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益7億36百万円（前年同期比62.0%減）、経常利益6億98百万円（前年同期比61.8%減）、四半期純損失は2億20百万円（前年同期は12億44百万円の利益）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産の部の合計は270億38百万円（前期末は270億18百万円）と、前連結会計年度末に比べ20百万円増加いたしました。当第3四半期連結会計期間の主な増減内容は次のとおりであります。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4億32百万円減少し、155億3百万円となりました。これは主に有価証券の減少によるものです。

固定資産につきましては、有形固定資産が4億23百万円、無形固定資産が8億38百万円増加し、投資その他の資産が8億9百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ4億52百万円増加し、115億35百万円となりました。これは主に無形固定資産に含まれるのれん及び無形固定資産のその他に含まれるソフトウェアの増加によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債の部の合計は86億2百万円（前期末は64億67百万円）と、前連結会計年度末に比べ21億35百万円増加いたしました。これは主に短期借入金の増加によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部の合計は184億36百万円（前期末は205億50百万円）と、前連結会計年度末に比べ21億14百万円減少いたしました。これは主に株式会社CELLの完全子会社化に伴う少数株主持分の減少によるものです。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動及び財務活動において増加したものの、投資活動により減少したことにより5億77百万円の減少となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は17億79百万円（前年同期は23億13百万円の収入）となりました。これは主に賞与引当金の減少で1億72百万円、負ののれん発生益で1億32百万円の支出要因となったものの、税金等調整前四半期純利益で2億44百万円、減価償却費で12億35百万円、投資有価証券評価損で5億64百万円が収入要因となったためであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は23億66百万円（前年同期は41億5百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得により11億74百万円、無形固定資産の取得により8億96百万円を支出したこと等によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は10百万円（前年同期は16億50百万円の収入）となりました。これは主に短期借入金の返済により13億80百万円、配当金の支払により4億9百万円、自己株式の取得により13億90百万円の支出となったものの、短期借入れにより33億30百万円を収入したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年9月期通期連結業績見通しにつきましては、当社グループを取り巻く事業環境の変化が激しく、主力事業であるモバイル事業においては、スマートフォンの普及によるユーザーニーズや利用状況の変化など、業績見通しを立てる上で重要な指標の条件設定が困難であり、また、主力事業となりつつあるポータル事業において、今後の動画関連サイト市場規模予測に加え、ユーザー数の急速な伸びによる収益、それに伴う様々な費用の発生など、不確実性により短期的に大きく収益及び費用が変動する傾向にあり、通期での業績予想について信頼性の高い数値を算出することが困難であります。

従いまして、四半期毎の業績発表時に次四半期の業績見通しを公表させていただきます。

平成24年9月期第4四半期会計期間連結業績見通し（平成24年7月1日～平成24年9月30日）

売上高	9,104百万円
営業利益	324百万円
経常利益	322百万円
四半期純利益	220百万円

なお、下記の「平成24年9月期 通期連結業績見通し」は平成24年9月期第3四半期連結累計期間の実績値に第4四半期連結会計期間の業績見通しを加算したものとなっております。

平成24年9月期通期連結業績見通し（平成23年10月1日～平成24年9月30日）

売上高	36,020百万円
営業利益	1,060百万円
経常利益	1,020百万円
当期純利益	0百万円

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当第3四半期連結会計期間より、法人税法の改正に伴い、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.6%から、平成24年10月1日に開始する連結会計年度から平成26年10月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については38.0%に、平成27年10月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.6%となります。この税率変更により、繰延税金負債の金額は6,870千円減少し、法人税等調整額は6,870千円減少しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## (参考情報)

## 当第3四半期連結業績

## 〔売上構成〕

(金額：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (売上比)	当第3四半期 連結累計期間 (売上比)	前連結会計年度 (売上比)	主な変動要因
売上高	26,300	26,916	34,298	
モバイル事業	12,803 (48.7%)	10,814 (40.2%)	16,782 (48.9%)	月額会員制サイトの会員数の減少によります。
ゲーム事業	5,304 (20.2%)	4,298 (16.0%)	5,864 (17.1%)	
ポータル事業	7,169 (27.3%)	10,194 (37.9%)	10,081 (29.4%)	ニコニコ動画のプレミアム会員数の増加によります。
ライブ事業	— (—%)	586 (2.2%)	238 (0.7%)	ニコニコ超会議の開催による増加によります。
その他事業	1,571 (6.0%)	1,947 (7.2%)	2,237 (6.5%)	
消去又は全社	△549 (△2.1%)	△923 (△3.4%)	△905 (△2.6%)	

## 〔売上原価主要科目〕

(金額：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (売上比)	当第3四半期 連結累計期間 (売上比)	前連結会計年度 (売上比)	主な変動要因
売上原価	15,494 (58.9%)	16,721 (62.1%)	20,560 (59.9%)	
人件費	3,333 (12.7%)	4,315 (16.0%)	4,688 (13.7%)	開発人員の増加及び連結子会社の増加に伴う人員の増加によります。
支払手数料	1,132 (4.3%)	1,570 (5.8%)	1,586 (4.6%)	コンテンツ獲得費の増加によります。
著作権等使用料	3,926 (14.9%)	3,414 (12.7%)	5,135 (15.0%)	着うた®・着うたフル®のダウンロードの減少によります。
外注費	4,378 (16.6%)	4,338 (16.1%)	5,621 (16.4%)	
通信費	1,532 (5.8%)	1,919 (7.1%)	2,109 (6.2%)	ニコニコ動画回線費用の増加によります。
その他	1,869 (7.1%)	2,528 (9.4%)	2,859 (8.3%)	固定資産の増加に伴う減価償却費の増加によります。
たな卸資産の増減	486 (1.9%)	△365 (△1.4%)	244 (0.7%)	
(他勘定振替)	△1,166 (△4.4%)	△999 (△3.7%)	△1,684 (△4.9%)	



〔販売費及び一般管理費主要科目〕

(金額：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (売上比)	当第3四半期 連結累計期間 (売上比)	前連結会計年度 (売上比)	主な変動要因
販売費及び 一般管理費	8,869 (33.7%)	9,458 (35.1%)	12,067 (35.2%)	
広告宣伝費	3,444 (13.1%)	3,201 (11.9%)	4,599 (13.4%)	
人件費	1,485 (5.6%)	1,883 (7.0%)	2,084 (6.1%)	連結子会社の増加に伴う人員数の増加によりま す。
支払手数料	2,543 (9.7%)	2,602 (9.7%)	3,440 (10.0%)	
研究開発費	282 (1.1%)	306 (1.1%)	354 (1.0%)	
その他	1,114 (4.2%)	1,465 (5.4%)	1,587 (4.6%)	

※当第3四半期連結会計期間末における従業員数(連結)は、1,070名となり、第2四半期連結会計期間末より86名、前連結会計年度末より93名増加しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,789,711	6,525,378
受取手形及び売掛金	6,420,601	6,371,038
有価証券	508,079	—
商品及び製品	163,673	304,371
仕掛品	762,700	637,059
原材料及び貯蔵品	14,937	6,532
その他	1,280,259	1,662,727
貸倒引当金	△4,020	△3,503
流動資産合計	15,935,944	15,503,604
固定資産		
有形固定資産	2,695,090	3,118,429
無形固定資産		
のれん	799,076	1,132,991
その他	1,539,185	2,044,252
無形固定資産合計	2,338,262	3,177,243
投資その他の資産		
投資有価証券	4,899,258	4,152,549
その他	1,153,138	1,212,762
貸倒引当金	△3,228	△125,624
投資その他の資産合計	6,049,169	5,239,688
固定資産合計	11,082,523	11,535,362
資産合計	27,018,467	27,038,966
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,984,366	1,971,902
短期借入金	316,416	2,221,416
未払法人税等	330,903	304,446
賞与引当金	490,266	317,937
ポイント引当金	40,795	105,133
資産除去債務	48,098	—
その他	2,693,951	3,231,304
流動負債合計	5,904,797	8,152,141
固定負債		
長期借入金	149,770	58,708
資産除去債務	248,225	317,132
その他	165,035	74,930
固定負債合計	563,030	450,770
負債合計	6,467,828	8,602,912

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,616,302	10,616,302
資本剰余金	10,022,921	9,497,345
利益剰余金	△1,387,378	△1,607,772
自己株式	—	△5,636
株主資本合計	19,251,845	18,500,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,106	△101,567
為替換算調整勘定	△1,548	△1,102
その他の包括利益累計額合計	131,557	△102,669
少数株主持分	1,167,235	38,486
純資産合計	20,550,638	18,436,054
負債純資産合計	27,018,467	27,038,966

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
売上高	26,300,009	26,916,785
売上原価	15,494,307	16,721,574
売上総利益	10,805,701	10,195,210
販売費及び一般管理費	8,869,336	9,458,827
営業利益	1,936,364	736,383
営業外収益		
受取利息	5,410	3,246
受取配当金	910	27,700
持分法による投資利益	—	36,390
その他	8,635	48,684
営業外収益合計	14,956	116,021
営業外費用		
支払利息	19,594	7,258
持分法による投資損失	10,985	—
投資事業組合運用損	10,769	11,831
寄付金	77,073	—
貸倒引当金繰入額	—	125,167
その他	4,484	9,226
営業外費用合計	122,907	153,485
経常利益	1,828,413	698,919
特別利益		
負ののれん発生益	—	132,142
投資有価証券売却益	162,931	—
段階取得に係る差益	30,000	—
関係会社株式売却益	—	2,100
その他	1,856	—
特別利益合計	194,788	134,242
特別損失		
固定資産除却損	18,206	5,001
固定資産売却損	21,055	—
減損損失	40,573	—
投資有価証券評価損	20,055	564,390
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	87,810	—
事務所移転費用	—	19,121
その他	—	118
特別損失合計	187,700	588,631
税金等調整前四半期純利益	1,835,501	244,530
法人税、住民税及び事業税	538,316	253,748
法人税等還付税額	△20,783	—
法人税等調整額	286	116,021
法人税等合計	517,818	369,769
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,317,682	△125,238
少数株主利益	73,381	95,155
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,244,301	△220,394

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,317,682	△125,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56,450	△234,674
為替換算調整勘定	420	451
その他の包括利益合計	56,871	△234,222
四半期包括利益	1,374,553	△359,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,301,125	△454,622
少数株主に係る四半期包括利益	73,427	95,161

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,835,501	244,530
減価償却費	605,111	1,235,233
減損損失	40,573	—
段階取得に係る差損益(△は益)	△30,000	—
のれん償却額	44,390	160,392
固定資産除却損	18,206	5,001
固定資産売却損益(△は益)	21,055	—
投資有価証券評価損益(△は益)	20,055	564,390
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△435	121,879
賞与引当金の増減額(△は減少)	△165,186	△172,328
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△2,388	—
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	△37,789	—
ポイント引当金の増減額(△は減少)	29,669	64,338
受取利息及び受取配当金	△6,320	△30,946
支払利息	19,594	7,258
持分法による投資損益(△は益)	10,985	△36,390
投資有価証券売却損益(△は益)	△162,931	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	87,810	—
投資事業組合運用損益(△は益)	10,769	11,831
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△2,100
負ののれん発生益	—	△132,142
売上債権の増減額(△は増加)	132,195	49,563
たな卸資産の増減額(△は増加)	474,306	△6,651
その他の資産の増減額(△は増加)	206,717	△551,384
仕入債務の増減額(△は減少)	△82,258	△12,463
未払金の増減額(△は減少)	△449,499	229,533
前受金の増減額(△は減少)	△215,013	150,414
その他の負債の増減額(△は減少)	296,650	154,778
その他	16,984	△19,350
小計	2,718,753	2,035,388
利息及び配当金の受取額	6,403	30,946
利息の支払額	△18,558	△7,027
法人税等の還付額	20,783	—
法人税等の支払額	△413,476	△280,205
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,313,905	1,779,100

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,000	△5,000
定期預金の払戻による収入	200,000	200,000
預け金の増減額 (△は増加)	△568	—
有形固定資産の取得による支出	△1,083,774	△1,174,180
有形固定資産の売却による収入	4,277	—
無形固定資産の取得による支出	△529,767	△896,676
無形固定資産の売却による収入	5,762	—
投資有価証券の取得による支出	△1,804,460	△149,900
投資有価証券の売却による収入	198,425	10,000
子会社株式の取得による支出	△5,000	△318,394
関係会社株式の売却による収入	—	17,100
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△591,485	—
貸付けによる支出	△301,592	△11,130
貸付金の回収による収入	2,500	3,786
出資金の払込による支出	—	△31,500
その他	—	△10,411
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,105,682	△2,366,306
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,712,000	3,330,000
短期借入金の返済による支出	△2,644,000	△1,380,000
長期借入金の返済による支出	△45,354	△136,062
リース債務の返済による支出	△8,205	△2,976
株式の発行による収入	1,086,759	—
自己株式の処分による収入	1,930,520	200
自己株式の取得による支出	—	△1,390,989
配当金の支払額	△373,913	△409,576
少数株主への配当金の支払額	△7,580	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,650,226	10,596
現金及び現金同等物に係る換算差額	457	△804
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△141,093	△577,412
現金及び現金同等物の期首残高	7,360,394	6,997,631
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,219,300	6,420,218

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	モバイル 事業	ゲーム 事業	ポータル 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,801,964	5,299,754	7,161,438	25,263,157	1,036,851	26,300,009	—	26,300,009
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,480	5,170	7,687	14,338	534,868	549,207	△549,207	—
計	12,803,445	5,304,924	7,169,126	25,277,496	1,571,720	26,849,216	△549,207	26,300,009
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	2,699,415	86,886	357,073	3,143,376	△433,512	2,709,863	△773,499	1,936,364

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ライブ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△773,499千円は、セグメント間取引消去△21,209千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△752,289千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	モバイル 事業	ゲーム 事業	ポータル 事業	ライブ 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	10,813,928	4,279,040	9,835,308	576,792	25,505,070	1,411,714	26,916,785	—	26,916,785
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	305	19,904	358,715	9,287	388,213	535,731	923,944	△923,944	—
計	10,814,234	4,298,945	10,194,024	586,080	25,893,284	1,947,445	27,840,730	△923,944	26,916,785
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	1,913,126	366,860	891,242	△817,140	2,354,088	△261,994	2,092,094	△1,355,710	736,383

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ出資等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,355,710千円は、セグメント間取引消去221,581千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,577,292千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。



(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象  
該当事項はありません。